

# 67th CALENDAR FAIR

## 第67回 全国カレンダー展

### 作品募集のご案内

◆主催：一般社団法人日本印刷産業連合会・フジサンケイビジネスアイ

作品締切 ▶ 12/3<sup>木</sup> 公開 ▶ 平成28年 1/13<sup>水</sup>～17<sup>日</sup> ゲートシティ大崎 B1 アトリウム 他  
1/20<sup>水</sup>～28<sup>木</sup> ペーパーボイス大阪(平和紙業)

#### 1. 全国カレンダー展

《カレンダー》は、印刷産業が提供する印刷メディアのひとつとして、私たちの生活に豊かさをもたらしてきました。また独特のグラフィックアーツとして、日本の社会風土に根つき、文化の向上に大きな役割を果たしてきました。

カレンダーに込められたクリエイティブ表現・アートテクニックは、印刷・加工技術とともに最高の水準に達していますが、最近では、優しい地球環境や心豊かな生活を希求する人びとの価値観を反映させた作品が数多く見受けられるようになりました。会社のイメージを大切にする企業カレンダーや個人を意識した出版カレンダーとともに、自然志向の写真や絵画の採用、落ち着いたデザイン表現、心とさせるアイデア、エコロジカルな素材利用、実用性や使いやすさの追求などが主要なテーマとなっています。時代の要請に応えるツールとして、カレンダーが重視されていることがよくわかります。

このように脚光を浴びるカレンダーのなかから、印刷・加工技術、企画・デザイン力、機能性や創造性に優れた斬新な作品を募り、厳選した入賞・入選作品を一般公開することは、豊かな生活の実現に貢献するとともに、社会文化の向上に大きく寄与する契機になります。カレンダー制作に携わる関係者にとって、カレンダー展への参加は今後の製品企画・市場開拓に大きな力を与えてくれる絶好の機会となります。

一般社団法人日本印刷産業連合会が主催する四大展示会のひとつとして、1950年から毎年実施してきた「全国カレンダー展」は、通算67回を迎える伝統的な恒例行事に発展しています。日印産連30周年でありグランドデザイン元年となる本年からは、より幅広く社会一般からの募集を目指し、株式会社日本工業新聞社(フジサンケイビジネスアイ)との共催で開催いたします。また今回も第57回を迎える全国カタログ展との連携を深め、より一層の発展と一般社会への認知拡大を期するものであります。

#### 2. 主催・後援

- 主 催 (一社)日本印刷産業連合会 フジサンケイビジネスアイ
- 後 援 経済産業省 (独)国立印刷局 日本商工会議所  
(予定) 日本製紙連合会 (公社)日本マーケティング協会 全国中小企業団体中央会
- 協 賛 全国カレンダー出版協同組合連合会

#### 3. 募集要項

- 対象作品 平成28年(2016年)次用として実用に供されるカレンダーで、日本の印刷会社が受注、または印刷したもの(デジタル印刷、インクジェット印刷など、印刷方式は問わない)
- 出品料 1作品 15,000円(入金締切 平成27年12月3日<sup>金</sup>)
- 募集期間 平成27年12月3日<sup>金</sup>まで(当日消印有効)
- 審査発表 審査会(12月8日・9日) 後日、HPIにて公表
- 表彰 平成28年1月13日<sup>金</sup>
- 募集部門
  - 第1部門 一般企業カレンダー、印刷会社の自社用カレンダー  
(企業が独自に制作し、直接配布するもの)
  - 第2部門 販促カレンダー  
(企業が発行し、自ら販売促進用に使用するか、もしくは販売網を通じて流通させるもの)
  - 第3部門 販売用(出版)カレンダー、既製カレンダー  
(公共性の強い機関からの作品を原則として含む)

## 4. 応募要項

### ■ 応募方法

- ①「出品申込書」に必要事項を記入の上、「作品リスト」とともに、事務局宛にメールでの事前送信 (calendar@sankei.co.jp) をお願いします。
- ②1作品につき2部提出してください。
- ③作品には「作品カード」を添付してください(下記の添付例参照)。
- ④作品は締切日までに、事務局(東京)宛に持ち込むか郵送してください。  
※「作品カード」および「作品リスト」は日印産連HPより入手いただけます。  
※応募作品の内容にしたがって、出品部門のいずれか(第1部門～第3部門)を必ず表記してください。表記のない場合や申請部門に疑問が生じた場合は、審査委員会の判断で出品部門を決定することがあります。  
※全国中小企業団体中央会会長賞の対象は、発行会社が中小企業である作品に限定しています。以下の基準に該当する場合は「作品リスト」の該当欄に○印をしてください。

- |        |           |     |           |
|--------|-----------|-----|-----------|
| ●製造業   | 資本金3億円以下  | または | 従業員300人以下 |
| ●卸売業   | 資本金1億円以下  | または | 従業員100人以下 |
| ●小売業   | 資本金5千万円以下 | または | 従業員50人以下  |
| ●サービス業 | 資本金5千万円以下 | または | 従業員100人以下 |

### ■ 注意事項

- ①出品に際しては、著作権・工業所有権等で、法律問題が生じないように各方面の了解を得ておいてください。
- ②締切日に遅れた場合や出品料の払込みがない場合は、審査の対象から除外あるいは授賞を取り消すことがあります。
- ③入賞作品については、公式カタログなどの掲載用に「写真データ」を提供していただくこととなりますので、ご了承願います。
- ④入賞作品は各10部のご提供をお願いいたします。
- ⑤応募作品は展示公開され、また公式カタログやHPなどに掲載・記録される場合がありますが、その際の著作権は目的限定で主催者に帰属します。
- ⑥応募作品は東京・大阪の展示会以外にも地方都市・海外での展示や公共団体あるいは関連企業が主催するイベントに貸し出すことがあります。
- ⑦応募作品は返却しません。

### ■ 申込先

フジサンケイビジネスアイ 営業・事業本部内  
「第67回 全国カレンダー展」事務局  
東京都千代田区大手町1-7-2 〒100-8125  
電話:03-3273-6180 FAX:03-3241-4999

※ 搬入先も同じ

### ■ 振込先

口座名:(株)日本工業新聞社  
みずほ銀行 大手町営業部 当座 18715

## 5. 賞の内容

◆ 経済産業大臣賞 (第1部門/第2部門/第3部門 各1点)

製版・印刷技術に優れ、企画デザインについてもその制作意図が明確で、かつ創造性に富み、将来にわたって印刷産業の情報メディアの担い手としての社会的役割が期待できるもの。

◆ 文部科学大臣賞 (第1部門/第2部門/第3部門 各1点)

総合的な優秀作品で、特にデザインに優れ、社会教育にも役立つと思われ、将来にわたって印刷産業の情報メディアの担い手としての社会的役割が期待できるもの。

◆ 経済産業省商務情報政策局長賞

(第1部門/第2部門/第3部門から 合計5点)

大臣賞に次いで、製版・印刷技術およびその機能性や市場性において優れていると認められるもの。

◆ 国立印刷局理事長賞 (第1部門/第2部門/第3部門 各1点)

印刷技術を中心に、総合的に優れているもの。

◆ 日本商工会議所会頭賞 (第1部門/第2部門/第3部門 各1点)

実用性に富み、総合的に優れているもの。

◆ 日本製紙連合会賞 (第1部門/第2部門/第3部門 各1点)

素材を生かして、総合的に優れているもの。

◆ 日本マーケティング協会賞 (第1部門/第2部門/第3部門 各1点)

マーケティング視点に立って、総合的に優れているもの。

◆ 全国中小企業団体中央会会長賞 (第1部門/第2部門/第3部門 各1点)

中小企業の振興につながり、総合的に優れているもの。

◆ 日本印刷産業連合会会長賞 (第1部門/第2部門/第3部門 各1点)

製版・印刷技術において水準が高く、機能性や市場性においても優れているもの。

◆ フジサンケイビジネスアイ賞 (第1部門/第2部門/第3部門 各1点)

広くマスコミの視点に立って、総合的に優れているもの。

◆ 審査員特別賞 (審査委員1人 各1点)

デザイナー・学識経験者の各審査委員がそれぞれに認めたもの。

◆ 部門賞 金賞 (審査総数の3%相当)

各ジャンルにおいて、製版・印刷・加工技術およびデザイン的に優れているもの。

◆ 部門賞 銀賞 (審査総数の7%相当)

金賞に次いで技術的・デザイン的に優れていると判断されるもの。

◆ 実行委員会奨励賞 (若干数)

実行委員が認めた特筆すべきもの。

## 6. 審査委員

### ■ クリエイティブ関係/学識経験者

浅葉 克己	松永 真	上條 喬久
奥村 鞆正	沼田 早苗	葛西 薫
飯沢 耕太郎 (写真評論家)		石川 英輔 (作家)
善本 喜一郎 ((公社)日本広告写真家協会)		古川 タク (東京イラストレーターズ・ソサエティ)

### ■ 官庁・後援団体関係

経済産業省担当官 (2名)	(独)国立印刷局	日本商工会議所
日本製紙連合会	(公社)日本マーケティング協会	全国中小企業団体中央会

### ■ 消費者代表

(公社)日本アドバイザーズ協会 (一社)全国消費者団体連絡会

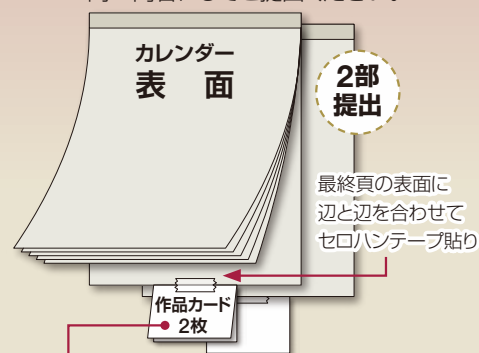
——— 以上予定 ———

### ■ 印刷関係代表

岩岡 正哲 ((一社)日本印刷産業連合会 広報委員会)  
久保田 秀明 (実行委員会 委員長)

### 作品カレンダー提出方法

提出部数の2部とも下図のように同一内容にしてご提出ください。



《作品カード》は必ず2枚重ねてセンターの同位置に貼付してください。

※ 上には審査用、下には展示会用としてください。  
(展示の際は、審査用カードをはがして使います。)